

道路行政管掌ノ職ニ在ルコト 年（各在職年數） 精勵格  
勤克ク其ノ職ニ盡シ功勞洵ニ顯著ナリ茲ニ紀元二千六百  
年並道路法施行二十周年ニ當リ記念品ヲ贈呈シ其ノ功勞  
ヲ表彰ス



昭和十五年十二月十三日

道路改良會々長 水野鍊太郎  
正三位勳一等法學博士

右勤績者氏名（敬稱略）

在職年數（年） 職名 氏名

	北海道廳技師	杉森文彦
一五	同 技 手	多田昌三郎
一三	同 同	本間勘次
一四	同 同	佐々木忠治
一〇	同 同	鈴木政次郎
一一	同 同	金野爲三郎
一〇	同 同	草間勝
一二	同 同	青山鐵三郎
一五	同 同	下村勝祐
		表彰狀
		北海道廳技師 杉森文彦 殿
		外四七四名
		表彰狀

三三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二

雜 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

報 手 屬 技

花谷市之助 廣瀬邦次 河野得一 能登屋一郎 青山豊太郎 小笠原幸孟 佐野孟男 田嶽隆要 金田大宮井岸 井口榮三郎 田中清治 田龜壽三郎 田吉壽太郎 田藤孝太郎 田内隆三郎

二九 二〇 二〇

同 技 手 伴 政 比 古 花 岩 梅 太 郎  
函館市技手 島 田 實 源 松 吉 盛 旭川市技師  
函蘭市技師 池 田 盛 田 同 書 記 鹿 野 潤 吉 同  
同 技 手 平 澤 德 壽 吾 信 有 福 介 佐 久 間 野 中 信 三  
同 技 師 补 荒 木 理 吉 茂 信 有 福 兼 一 林 田 助 德 三  
同 道 路 主 事 小 山 健 之 介 佐 久 間 野 中 信 三  
東京府地方事務官 德 田 茂 信 有 福 兼 一 林 田 助 德 三  
同 道 路 技 師 野 中 信 三 今 井 菲 哲  
東京市技師 石 黑 作 藏 哲



二四  
二七 二八 二〇 二三 二一 二〇 二〇 二二 二〇 二三 二四 二三 二三 二三

雜報  
大阪府地方技師 西義一  
同 土木技師 上床仁三  
同 土木技手 井上幹夫  
同 土木技手 江見敬甫  
同 土木技手 中村熊三郎  
同 土木技手 福井昇勉  
同 技 手 木見南  
同 技 手 木雄  
同 技 手 坪井豊彦  
同 技 手 三浦菊彌  
同 技 手 定塚喜作  
同 技 手 木下芳三  
同 技 手 村川正一  
同 技 手 田後琢磨  
同 技 手 田東後琢磨  
同 技 手 田森富  
同 技 手 市川義虎  
同 技 手 市岸和田市  
同 技 手 市吹田市  
同 技 手 市理事  
同 技 師 大阪市技師  
同 技 師 市岸和田市  
同 技 師 市吹田市  
同 技 師 市理事

二五  
二三 二二 二七 二〇 二二 二一 二〇 二二 二三 二三 二三 二二

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
技 手

信一次  
中島精一郎  
栗武一郎  
大惣武丹  
中島信一  
原治次郎  
德治郎  
西川正一郎  
后藤次郎  
梅治郎  
小原薰  
角谷  
鈴木  
中原  
坂田  
玉井  
新太郎  
山仙五郎  
秋太郎  
杉本正治  
森本敬治  
本正治

一三	同	同	杉原善造	杉原善造	一郎
一〇	同	同	田邊周三	田邊周三	二一
一三	同	同	嵯峨山義雄	嵯峨山義雄	二〇
一〇	同	神奈川縣地方技師	横尾藤吾	横尾藤吾	同
一〇	同	同	横谷川正勝	横谷川正勝	二五
一三	同	同	久雄吉源	久雄吉源	二三
一〇	同	同土木書記	藪田久雄	藪田久雄	同
二四	同	同道路技手	廣施	廣施	同
二七	同	同土木工師	小松三郎	小松三郎	同
二六	同	同工營主事	藤田榮司	藤田榮司	同
二四	同	横濱市助役	大岡大三	大岡大三	同
二七	同	同技師	大坪信一	大坪信一	同
二三	同	同	高民三郎	高民三郎	同
二三	同	同	大野新吉	大野新吉	同
二〇	同	同	石原同書記	石原同書記	同
二〇	同	同	稻垣信治	稻垣信治	同
二〇	同	同	山田辰浩	山田辰浩	同
二〇	同	同	井口真藏	井口真藏	同
二〇	同	同	岡本喜代一	岡本喜代一	同
二〇	同	同	奥中喜代一	奥中喜代一	同
二〇	同	同	石川昇吾	石川昇吾	同
二〇	同	同	堀眞造	堀眞造	同
二〇	同	同	見喜藏	見喜藏	同
二〇	同	同	透治	透治	同
二〇	同	同	佐野俊夫	佐野俊夫	同
二〇	同	同	齋藤保興	齋藤保興	同
二〇	同	同	田玄治	田玄治	同
二〇	同	同	君塚秀雄	君塚秀雄	同
二〇	同	同	小林忠三郎	小林忠三郎	同
二〇	同	同	中川信德	中川信德	同
二〇	同	同	菅生好敏	菅生好敏	同
二〇	同	同	黒川渡邊	黒川渡邊	同
二〇	同	同	龍之介郎	龍之介郎	同
二〇	同	同	之助郎	之助郎	同
二〇	同	同	良輔郎	良輔郎	同
二〇	同	同	信次郎	信次郎	同
二〇	同	同	信之郎	信之郎	同

二二	同 技 手	内 海 秀 一	二七	長崎市技手	薄 井 松 太 郎
二二	姫路市技師	青 木 治 助	二三	佐世保市技師	佐 藤 林 藏
二二	同 技 手	福 村 信 敬	二〇	同 技 手	白 木 義 亮
二二	尼崎市技師	細 川 英 二 郎	二〇	同	坂 井 保 成
二二	同 技 手	川 村 熊 治 郎	二〇	新潟縣道路主事	關 忠 成
二二	同 技 手	今 田 好 吉	二〇	同 道路技手	石 田 升 浩
二二	西宮市技師	松 田 愛 太 郎	二〇	長岡市書記	高 橋 孝 吉
二二	同 技 手	齋 藤 長 勝	二〇	同 技 手	小 幡 仙 太 郎
二二	明石市技手	牧 田 氏 雄	二〇	新潟市技師	安 井 與 三 八
二二	節磨市技手	小 谷 庫 二	二〇	埼玉縣道路書記	小 川 健 次 郎
二二	長崎縣道路技師	堀 助 次 郎	二〇	同	田 中 德 太 郎
二二	同 土木技師	森 山 勝 之 助	二〇	同 道路技手	江 利 川 真 吾
二二	同 道路技手	坂 井 専 一	二〇	同	坂 部 邦 三
二二	渡 邊 儀 一	中 村 又 一	二〇	群馬縣道路主事	東 海 林 半 三 郎
二二	同 道路技手	原 口 由 太 郎	二三	同 道路技師	岩 渕 英 治 郎
二二	同 道路技手	野 村 榮 藏	二三	同 道路技手	朴 裕 藏

一	六	同 技 手 中 島 勝 樂
二	五	同 道 路 技 師 佐 藤 辰 男
三	四	同 道 路 技 手 佐 竹 昌 志
四	三	同 道 路 主 事 島 村 信
五	二	銚 子 市 技 師 石 田 松 太 郎
六	一	板 木 縣 道 路 主 事 植 木 森 男
七		同 土 木 主 事 大 出 周 一 郎
八		同 道 路 技 師 三 宅 忠 八
九		同 屬 福 田 常 吉
十		同 土 木 技 手 堀 江 進
十一		同 道 路 技 手 櫻 井 茂 兵 衛
十二		同 土 木 技 手 青 木 庭 次 郎
十三		同 道 路 技 手 內 田 圭 治
十四		同 同 蓬 田 善 吉
十五		同 同 押 久 保 博 造
十六		同 同 岡 崎 廣 之 介
十七		同 同 榆 木 善 十 郎

二〇	同道路技手	小村耕吉	一三	愛知縣道路主事	星野安太郎
二一	同	磯富	一〇	同道路技師	大場一
二〇	宇都宮市技師	野澤末喜	二六	名古屋市技師(土木局長)	花井又太郎
二七	足利市技師	大房忠次	二九	同理事	柘植鉢太郎
二六	奈良縣道路技師	深澤秀雄	二六	同技師補	小林一男
二〇	同	川島精三	二一	同技手	山本義兵
二一	同土木技師	駒田普明	二〇	同技手	太田末次郎
二二	同技手	大河原廉夫	二〇	同技師	伴儀一
二四	三重縣道路技師	豊田勝藏	二〇	瀬戸市技師	鈴木愛三郎
二四	同	西岡篤太郎	二三	岡崎市土木技師	近藤喜次郎
二四	同道路主事	倉田清	二〇	靜岡縣道路技師	左右田友三郎
三二	同	伊藤季武	二〇	同土木技手	永田藤市
三〇	同土木主事	伊藤四方平	二〇	同道路技手	岩田政雄
二八	同技手	村田佐太郎	二三	同土木書記	海野彌之助
三〇	同土木主事	伊藤克清	二〇	同道路主事	栗田繁
三〇	松坂市土木技師	森田竹次郎	二〇	同道路技手	近藤佐一

二〇	同土木技手	本間	軍一	一	同	彦根市技師	永井壽
二〇	同道路技手	海野弘一			同	岐阜縣道路主事	岩島利六
二〇	同土木技手	渡邊丑太郎			同	同土木技師	吉田壽三郎
二〇	同土木書記	山内嘉平			同	同地方技師	伊藤千代太郎
二九	静岡市技師	外山鷹次郎			同	岐阜市技手	篠田壽三郎
三〇	清水市技師	山村重平			同	長野縣土木技手	山田軍治
二〇	濱松市技師	川村勝忍			同	多治見市技手	戸田彌次郎
二七	山梨縣道路技手	岩柳庸夫			同	岐阜市技手	宮部甚一
二六	同工營技師	水上富重			同	長野縣土木技手	高内鐵雄
二三	同土木技師	椎谷理三郎			同	同道路技手	三井睦三
二二	同道路主事	飯田乙彦			同	松本市技師	松岡芳壽
二〇	同道路技手	大貫富次			同	同技手	永井林吾
二三	同都市計畫地方委員會技師	丸山利重郎			同	飯田市技手	百瀬義治
二六	甲府市技手	青柳芳次			同	岡谷市技手	後藤季總
二四	滋賀縣道路技師	杉山豊吉			福島縣地方技師		
二二	同 技 手	澤山佐平					

二〇	同道路技師	守屋 孝秀	二〇	同 技 手	齋藤 健次郎
二〇	同 技 手	小林 清吉	二〇	同道路技手	伊藤 芳太郎
二〇	同道路技手	岩川 政五郎	二八	酒田市主事	白旗 金太郎
二〇	岩手縣道路技手	玉田 幸喜	二六	秋田縣地方技師	佐藤 東次郎
二〇	同道路書記	正一 喜平	二五	同 技 手	渡辺 弘平
二〇	金石市技師	長谷川 友吉	二〇	同	佐藤 正治郎
二〇	青森縣土木技手	佐藤 讓	二〇	秋田市技師	宮尾 撥一
二三	弘前市技手	佐藤 文之助	二〇	福井縣道路主事	前原 嶽
二四	同土木技師	小山 内茂	二三	同 技 手	佐藤 中直俊
二六	青森市技師	細川 竹雄	二二	同	浅野 達彌
三〇	同 技 手	佐藤 直司	二二	須藤 守藏	
二〇	山形縣道路主事	青木 信愛	二一	大岩 守正	
二〇	同土木主事	石川 彌次郎	二一	同道路技手	
二〇	同土木技師	高橋 健男	二一	同土木技手	
二〇	同道路技手	高橋 七男	二一	福井市技師	
二〇	同土木書記	西 部	二一	吉田 與三右衛門	
二〇	同 技 手	野 村	二一	實	

二六	敦賀市土木技手	笠 田 弱 吉	三〇	同道路技手	沖 村 久 長 衛
二〇	石川縣土木技手	石 崎 次 作	二一	同土木技手	柿 崎 朝 次
二〇	同	同	二〇	同道路技手	津 川 有 章
二〇	同道路技手	高 畠	二〇	同 技 手	金 山 豊 二
二〇	同	同	二六	同土木技手	澤 田 灌 三
二〇	同	同	二三	同土木技手	高 岡 松 原 正
二〇	同	同	二六	同土木技手	富 山 牧 義
二〇	同	同	二五	鳥取縣地方技師	高 木 季
二三	同道路技手	輪 島 重 作	二六	鳥取縣地方技師	高 木 季
二四	同	同	二三	同土木技手	谷 口 順 一
二三	金澤市書記	青 島 有 一	二二	同土木技手	松 丸 千 代 吉
二四	同 技 手	末 岡 弥 三 雄	二三	鳥取市技師	指 原 熊 雄
二三	富山縣地方技師	大 島 六 七 男	二〇	米子市技師	小 林 鴻 策
二〇	同 土木技手	川 波 誠 行	二三	島根縣地方技師	猿 谷 新 太 郎
二〇	同 道路技手	山 濱 一 郎	二〇	同 土木技師	門 司 武 久
二三	同 土木技手	杉 本 美 雄	二〇	同	林 約 一 郎
二三	同 技 手	野 崎 實 次	二〇	同 土木技手	今 井 好 二 郎
二三	同	同	二八	同 道路技手	万 田 治 吉



和歌山縣道路主事 川原義任

一〇

三三

一〇

二六

二六

二六

二三

二二

二二

同

七條信次郎

一〇

二七

二七

二七

二七

二七

二五

二五

同

德島市技師

一〇

二七

二七

二七

二七

二七

二七

二七

同

露口秀夫

一〇

二七

二七

二七

二七

二七

二七

二七

木田義一

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

高保寅三郎

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

一〇

二六

二六

二六

二六

二六

同

堀内正季

二一 福岡縣土木技手 熊本 八十八  
二一 若松市技師 立山 辰雄  
二七 大牟田市技師 廣木 尚樹  
二一 八幡市技師 霧村 丑太郎  
二四 戸畠市技師補 古野 儀助  
二三 大分縣道路書記 小山 田一  
二一 同道路技師 赤嶺 本  
二二 同 同 平野 一男  
二一 同士木主事 實崎 順作  
二三 同道路主事 永井 重己  
二二 別府市土木課長 中澤 源  
三四 佐賀縣工師 今泉 忠太  
二三 同 同 吉野 新八  
二五 同 技 手 岡孫 作  
二七 同

二四 佐賀市技師 南里 弼作  
二〇 熊本縣道路主事 吉田 信二  
二六 熊本市技師 天草 盛長  
二五 宮崎縣地方技師 寺田 甫  
二〇 同道路主事 伊東 定傳  
二一 同道路技手 一木 德男  
二一 同 技 手 多田 高雄  
二一 同 同 江坂 本豊馬  
二一 同 同 佐野 藏進  
二一 横山 勉  
二一 同書記 松澤 勝繁  
二一 後藤 繁市  
二一 山本 廣一  
二一 只限 勳  
二一 同道路技師 山本  
二一 鹿兒島縣地方技師 興梠憲一  
二一 同士木技師 中馬 純九郎  
二一 同 技 手

多年修路ノ職ニ從ヒ道路ノ維持修繕ニ盡瘁シ克ク其ノ成績ヲ擧ケ今日ニ及フ功勞洵ニ顯著ナリ茲ニ紀元二千六百年竝道路法施行二十周年ニ當リ記念品ヲ贈呈シ其ノ功勞ヲ表彰ス

昭和十五年十二月十一日

道路改良會々長 水野鍊太郎  
正三位勳二等法學博士

右功勞者氏名

職名 氏名

北海道廳道路工夫 瀧澤小吉

東京府土木手 福島留吉

東京市工手 中村米吉

京都府道路工夫 村島光造

京都市測量工夫 藤原彌五郎

大阪府修路工夫 長瀬幸作

稻葉仙太郎

中谷金太郎

鈴木梅吉

北海道廳道路工夫  
瀧澤小吉殿  
外八九名

表彰狀

二一 同	川井田清造
二〇 同	服部貞晃
二〇 同	内田清治
二一 同	外松正之助
二一 沖繩縣地方技師	木村儀四郎
二〇 同土木技師	飯塚昌二
二一 那覇市技師	國吉眞武
二二 東京土木不出張所 内務技師	岩澤忠恭
二三 名古屋土木不出張所 土木事務官	祝井貞雄
二四 下關土木不出張所 内務技師	金子丑松
二五 同	前澤浩
二六 内務省内務技手	田麻三
二七 同	田子丑
二八 同	金前澤
二九 同	内務省内務技手
三十 同	下關土木不出張所 内務技師
三一 同	東京土木不出張所 内務技師
三二 同	東京市工手
三三 京都府道路工夫	京都府道路工夫
三四 京都市測量工夫	京都府道路工夫
三五 大阪府修路工夫	大阪府修路工夫

二、道路維持修繕功勞者(個人)

横濱市工夫	清水喜之助	三重縣道路工夫	村山伊藏
兵庫縣修路工夫	西村平次郎	津市道路工夫	松林清郎
同	久保田直一	愛知縣修路工夫	勝川佐十郎
長崎縣道路工夫	中山三郎	同	橋本小市
同	佐藤英信	靜岡縣道路工夫	佐藤源作
新潟縣修路工夫	小田菊松	山梨縣道路工夫	太田正雄
埼玉縣道路工夫	石野惣五郎	滋賀縣測量夫	渡邊國仲
同	岡田濱吉	岐阜縣修路工夫	蘆澤忠吉
千葉縣道路工夫	濱野勝四郎	滋賀縣二等修路工夫	山本林之助
同	岡田一正	同	宗戶清七
茨城縣道路當工夫	鈴木淺吉	長野縣道路工手	富田柳藏
同	新堀政一郎	同	味田安右衛門
栃木縣道路工夫	大谷廣作	木下儀八郎	多田謙吉
同	篠原福太郎	久野蝶一郎	菅原菊太郎
奈良縣道路工夫	菊地馬之助	宮城縣修路夫	鈴木豐三郎
同	中西源一郎	同	同
谷字	吉		

同

岩手縣道路工夫

山內

護

島根縣修路工夫

井上辨太郎

岡本久一郎

西彌

岡山縣道路手

守屋源太郎

岡本久一郎

青森縣修理工夫

吉田伊三郎

平岡本久一郎

同

山形縣道路工手

小笠原三之助

平岡本久一郎

同

秋田縣道路工夫

齋藤吉次郎

平岡本久一郎

同

福井縣道路定役工夫

淺野藤吉

平岡本久一郎

同

石川縣道路常用工夫

阿部三次郎

平岡本久一郎

同

富山縣道路工夫

藤田重太郎

平岡本久一郎

同

鳥取縣道路工夫

高山秀一

平岡本久一郎

同

高松勇吉

山村本北三郎

平岡本久一郎

同

愛媛縣道路工夫

和歌山縣土木工夫

平岡本久一郎

同

德島縣修路工夫

平岡本久一郎

同 東 宗 次

福岡縣道路工夫

同

大分縣道路工夫

同

佐賀縣道路工夫

唐津市工手

熊本縣修路工夫

同

宮崎縣道路工夫

鹿兒島縣修路工夫

沖繩縣道路工夫

同

北海道虻田郡狩太村道路愛護組合

### 三、道路維持修繕功勞者(團體)

表 彰 狀

北海道虻田郡狩太村道路愛護組合

外六八團體

多年道路ノ愛護ニ力ヲ效シ克ク其ノ成績ヲ擧ケ功績洵ニ

顯著ナリ茲ニ紀元一千六百年並道路法施行二十周年ニ當

リ記念品ヲ贈呈シ其ノ功勞ヲ表彰ス

昭和十五年十二月二十一日

正三位勳一等法學博士 水野鍊太郎

功勞團體名

北海道虻田郡狩太村道路愛護組合

同上川郡永山村道路保護組合

京都府天田郡上豐富村奧櫛原少年團

同愛宕郡花背村八幡青少年赤十字團

大阪府泉北郡横山村道路愛護會

同豐能郡西鶴見村道路愛護會

神奈川縣高座郡六會村道路愛護聯合會

橫濱市港北區田奈尋常高等小學校

兵庫縣有馬郡高平村道路愛護會

同有馬郡本庄村道路愛護會

長崎縣北高來郡小金井村道路愛護會

埼玉縣南埼玉郡 増林村道路愛護會

同比企郡 大河村道路愛護會

千葉縣長生郡 水上村道路愛護會

同安房郡 曾呂村道路愛護會

宇都宮市 道路愛護協會

栃木縣下都賀郡 桑村道路愛護組合

奈良縣北萬城郡 王寺町道路愛護團

愛知縣知多郡 河和町兒童道路愛護會

同八名郡山吉田第一尋常高等小學校少年道路愛護會

靜岡縣富士郡 元吉原村道路愛護會

同磐田郡 豊濱尋常高等小學校道路愛護會

山梨縣南都留郡 道志道路愛護會

同南巨摩郡 駒合村道路愛護會

滋賀縣野洲郡 中里村道路愛護會

同安曇郡 安曇小學校道路愛護會

岐阜縣吉城郡 小鷹利村道路愛護會

同揖斐郡 川合村道路愛護會

石川縣羽咋郡 志雄町道路愛護會

長野縣北佐久郡 春田村道路愛護會

同下伊那郡 伊賀良村道路愛護會

宮城縣亘理郡 逢隈村道路保護組合

同黒川郡 富谷村道路保護組合

福島縣安積郡富久山行健少年赤十字園道路愛護會

同東白川郡 鮫川村聯合道路愛護會

岩手縣東磐井郡 猿澤村道路保護組合

同膳澤郡 南都田村道路保護組合

青森縣東津輕郡 新城村道路愛護團

同東津輕郡 西平内村道路愛護會

山形縣北村山郡 大石田町

同西田川郡 山戶村

秋田縣山本郡 稚毛少年少女園道路愛護會

同平鹿郡 淺舞町道路愛護會

福井縣大野郡 西谷村道路保護組合

同敦賀郡 愛發村道路保護組合

富山縣下新川郡 松倉村道路愛護會  
鳥取縣日野郡 江尾村道路愛護治水施設保全會  
同八頭郡 佐治村道路愛護治水保全會  
島根縣八束郡 熊野村道路愛護團  
同大原郡 海潮村道路保護團  
岡山縣久米郡 打穴村道路保護會  
同御津郡宇日西村消防組第三部道路愛護會  
山口縣佐波郡 和田荷馬車同業組合  
同大島郡 久賀小學校道路愛護會  
和歌山縣伊都郡 山田村道路愛護會  
同西牟婁郡 秋津川村道路愛護會  
德島縣板野郡 大山村道路愛護會  
同麻植郡 木屋平村道路愛護會  
高知縣高岡郡 橋原村道路愛護會  
同高岡郡 東津野村道路愛護會  
大分縣日田郡 大鶴村道路愛護會  
同直入郡 豊岡村道路愛護會

四、道路行政特殊功績者(道路法制定等)

顯 彰 狀

故 堀 田

貢 眇

外九名

道路法ノ制定及其ノ施行ニ關シ盡瘁セラレ道路ノ改良整備上功績洵ニ顯著ナリ茲ニ紀元二千六百年茲道路法施行

二十周年ニ當リ記念品ヲ贈呈シ其ノ功績ヲ顯彰ス  
昭和十五年十二月十二日

正三位勳一等法學博士 道路改良會々長 水野鍊太郎

功績者氏名(敬稱略)

故 堀 田 貢

昭和十五年十二月十二日

故 小 橋 一 太

正三位勳一等法學博士

水野鍊太郎

故 近 藤 虎 五 郎

功績者氏名(敬稱略)

山 本 亨

佐 上 信 一

牧 彦 七

牧 野 雅 樂 之 承

岸 文 雄

佐 藤 利 恵

岩 崎 雄 治

三 清 七 郎

丹 羽 氏 行

田 中 好

土 肥 憲 二 郎

佐 々 木 光 綱

藤 井 真 透

五、道路行政特殊功績者(改良整備)

西 川 榮 三

## 顯 彰 狀

株式會社日立製作所 坂 本 一 平

常務取締役 森 島 真 一

## ◎昭和十六年度政府豫算概算

道路ノ改良整備ニ關シ盡瘁セラレ其ノ功績洵ニ顯著ナリ

茲ニ紀元二千六百年並道路法施行二十周年ニ當り記念品

ヲ贈呈シ其ノ功績ヲ顯彰ス

東京市技師 山 本 亨

外七名

三國同盟締結以後の重大な國際情勢下にあつて東亞共榮  
圈確立のために高度國防國家建設へ邁進しようとする近衛  
内閣の重要な政策を盛つた明年度一般會計豫算案は、既報の

如く九月中旬以來大藏省で各省から提出された豫算概算につき査定を行ひ、各省との折衝を重ねて來た結果九日午後乃至つて漸く決定をみ、十日午後三時から開催された豫算閣議に附議された。昭和十六年度一般會計豫算概算は（臨時軍事費特別會計追加を除く）總額六十八億六千三百萬圓に上り、前年度一般會計當初豫算五十八億二千二百萬圓に比すれば實に十億四千百萬圓の増加となつてゐる。一般會計歲出概算がかくの如く膨脹を來した事は、明年度豫算が高度國防國家建設の大目標の下に幾多の重要な施設が企圖せられてをり各省經費とも例外なく膨脹を來した。豫算の査定に當つては物動計畫に即應して高度の重點主義に則り、不急不要經費を極力排して飽くまでも重要國策遂行に要する經費に集中したのであつたが、結局豫算總額としては一億圓の膨脹となり、殊に萬全を期する陸海軍兩省をはじめ資源開發、生産力擴充を強化しようとする商工省豫算について相當の増加を示してゐる。これが財源については我が戦時經濟運營に及ぼす影響を顧慮して、赤字公債を出来る

だけ抑制する方針をとり、前年度當初豫算の赤字公債十六億七千萬圓に比すれば一億圓を増加した程度に抑へて、一方稅收入は稅制改革の平年度化によつて前年度より五億四千萬圓の增收が見込まれてをり、更に特別會計からの繰入金、納付金、受入金の増額を圖つてゐる。かくて十六年度一般會計豫算はまたもや記錄的な巨額に上り、事變第五年の戰時豫算の遂行は國民のより力強い國策への協力が要請されなければならないこととなつた。（單位百萬圓）

### 昭和十六年度歲入出概算

#### 歲 入

##### 經 常 部

三、七九〇

##### 臨 時 部

三、〇七一

##### 普 通 歲 入

一、一一二

##### 公 債 金

一、八八〇

##### 前 年 度 剩 餘 金

八〇

六、八六三

#### 歲 出

經常部	三、三二〇	司法	六一	文部	二二五
臨時部	三、五四三	農林	二三八	商工	一九六
計	六、八六三	遞信	四六六	拓務	八〇
歲入内譯	三、六九〇	厚生	一八〇	合計	六、八六三
租稅收入	一四二				
印紙收入					
官業及官有財產收入	五一五				
特別會計よりの納付金、 繰入金、受入金等	三九七				
その他雜收入	一五六				
合計	四、九〇二				
歲出概算各省別内譯	一、八八〇				
公債金	一、八八〇				
前年度剩餘金	八〇				
合計	六、八六三				
皇室	七〇				
内務	五九七				
陸軍	一、三八七				
海軍	一、二四一				

尙基本國策に沿ひたる新規土木事業費は大體左の如く計上せらるゝものと傳へられる。

一、河川改修費 △渡良瀬川(栃木)改修總額八百萬圓(十  
五ヶ年) △大分川(大分)改修五百七十萬圓(十四ヶ年)  
△名取川(宮城)改修一千百七十萬圓(十二ヶ年) △大野川  
(大分)河水統制一千三百萬圓(五ヶ年) △加茂川(愛媛)河  
水統制六百七十萬圓(四ヶ年) △最上川(山形)改修四百七  
十萬圓(八ヶ年、來年度分無し) △鬼怒川(栃木)ダム建設  
一千十萬圓(十ヶ年、十七年度より) △天龍川(諒岡)改修  
二百二十萬圓(追加、五ヶ年) △紀ノ川(和歌山)改修三百  
十萬圓(追加、四ヶ年) △信濃川(新潟)上流改修四百五十  
萬圓(追加、八ヶ年) 一、港灣擴張費 △新潟港八百九十  
萬圓(七ヶ年) △神戸港二千六百六十五萬圓(十一ヶ年) △

横濱港六百六十萬圓（九ヶ年）△門司港六百三十七萬圓

（八ヶ年）△小名濱港百八十四萬圓（三ヶ年）△千葉縣臨海

工業地帶造成三千二十四萬圓（十三ヶ年）△岩國港擴築百

五十萬圓（八ヶ年）△八代港擴築二百三十萬圓（七ヶ年）△

女川港擴築七十二萬圓（五ヶ年）△岡山港擴築百七十萬圓

（七ヶ年）△延岡港擴築九十二萬圓（六ヶ年）△三濱港擴

築七十萬圓（五ヶ年）尙ほ名古屋港改築計畫は認められ

たが補助は後年度（來年度なし）で約六百萬圓十ヶ年の

豫定一、國道改修費 △靜岡—濱松間、總額七百三十萬

圓（八ヶ年）△岡山縣倉敷—廣島縣三原間、八百萬（八ヶ

年）△茨城縣土浦—日立間、九百二十七萬圓（九ヶ年）△

福井縣武生—武土井市間、二百八十六萬圓（六ヶ年）△横

濱市內田浦町—深田町間、五百二十五萬圓（六ヶ年）△横

濱市内、四百萬圓（四ヶ年）

◎ 内務省土木試驗所第一百十一回技術談話會話題

（昭一五、一二、二〇 午後一、三〇—四、〇〇）

一、滿洲に於ける濕地の實體並びに濕地帶に

構築されたる道路の現況（四〇分）

藤森 技師

二、合成梁の撓み振動に就て（一一〇分）

三、山西省地方黃土地帶の形貌と之に對する

横田 技師

處理に關する所見（幻燈使用）（三〇分）

藤森 技師

四、繼目用デニベルを使用せる全木橋敷島橋

（本邦最初のもの）の架設工事の經過と竣工

結果より見えたる設計及架設に關する注意（幻燈使用）

南保 技師

五、國土計畫に關する獨逸の國土調査とその中央計畫

（三〇分）

藤井 技師

新  
年  
賀

昭和十六年一月一日

「道路の改良」編輯員一同

## ○日本ピュマルス會社の新體制順應

十數年前に創立し我邦道路鋪裝業界に於て有名なる日本ピュマルス株式會社は、アスファルト資材を米國に求め居りしが、今回我國策に順應して其の機構を改め且資材は之を國產に仰ぎて道路改良上に寄與することとなつた。

## ○西園寺公望公爵薨去

波瀬重臺の九十二年の生涯を送られた唯一人の元老西園寺公望公爵は客年十一月二十四日午後九時五十四分靜岡縣下興津の別邸坐漁莊に於て薨去された。

## ○近刊圖書雜誌（寄贈交換）

## ○土木雜誌（第一六卷一二號、第一七卷一號）

## ○法律雜誌（第一三卷一號）

## ○セメント界報（一月號）

## ○自營（十一月號）

## ○石油時代（十一月號）

## ○建築協會雜誌（十二月號）

## ○清和（第七卷一二號）

## ○土木試驗所彙報（第一五卷）

（時局下に於ける土木工事の施工法に關する講習會講演）

## ○金鑑（第三卷九號）

## ○大阪商工會議所月報（十一月號）

## ○乘合自動車（十一月號）

## ○土木學會誌（第一六卷一一號）

## ○道路（十一月號）

（酒井朋三氏＝東京下關間自動車專用道路の建設を望む  
田島治身氏＝現下に於ける本邦道路橋の趨向）

## ○建設（十月號）

## ○電氣通信學會雜誌（第一一一一號）

## ○東大陸（一月號）

## ○汎交通（十二月號）

## ○土木（第六〇號）

## ○土木工業（第二卷一一號）

## ○都市公論（十二月號）

## ○港灣（第一八卷一一、一二號）

## ○水利（第一三卷一一號）（河川協會結成記念號）

## ○都市問題（十一月號）



一五七 下より三行 右より七字 我が國では 我が國では

未だ その頃未だ  
曾て生産さ 生産されて

新潟土木出張所同相馬計治へ相島計治 橫濱土木出張所同相馬計治へ相島計治  
内務省道路課内務局大紫勇へ大柴勇 新潟土木出張所同長崎榮進へ長崎榮進

同 下より二行 一字

曾て生産さ 居なかつた  
れたことは ないし

一五八 六行 二十五字

其のためビ 其のためアス

同 六行

チユマルス、カル、ビチユ マルス、

奈良縣ノ深野小次郎、福岡芳雄ヲ創ル  
山口縣ノ道路課長欄ニ久保田秀雄ヲ入レル

## 正誤表

## 『構造令其他産みの惱み』正誤表

頁數 段別 行數 字數 誤 正。

二九八 下段 左より一行 下より七字 六年×の頃

七年春頃

三〇〇 上段 左より六行 八字 (鋪道の)

(歩道の)

同 下段 左より七行 十三字 數等級

三等級

三〇一 同 四行 十一字 京津間に

於て 修に於て

三〇二 上段 九行 末より五字 交通に關

レ字構 に關し 交通の性質

同 下段 左より八行 五字

レ字構

## 内務省、道、府、縣土木技術官一覽表中

東京土木出張所土木事務官小松謙一へ小松原謙一